

現地組立型単心LCコネクタ 0.25/0.9心線用 クイックLC™



ETK1223147A

取扱説明書

⚠️ 安全にお使い頂くために

本製品は安全性を十分に考慮して設計しています。しかし、間違った使い方をする、事故や製品の故障につながる恐れがあります。事故を防ぎ、安全にお使い頂くために次のことを必ずお守りください。

★光ファイバおよび光ファイバ屑は小さく、先端が鋭利です。指に刺す、目に入る、と怪我をする恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。作業中は **安全メガネを着用** してください。

★コネクタ端面や光ファイバ端面を **のぞき込まない** てください。強い通信光が出ている場合があり、目を傷つける恐れがあります。通信光は目には見えませんので十分注意してください。

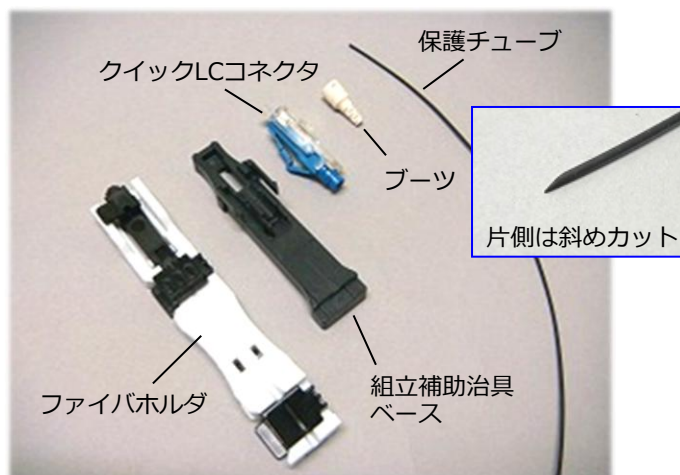
★高所での作業の際には、組立工具を落とさぬ様にご注意ください。(リストストラップ等をご使用ください)

⚠️ 必ずお読みください

- ①組立方法を誤ると本来の性能が得られない場合があります。**本説明書をよくお読みになって**からご使用ください。
- ②本製品はチリ・ホコリが大敵です。コネクタはご使用の**直前に開封する**様お願いいたします。
- ③本製品は切断面により特性が大きく変わります。良好な切断特性を有するカッタを使用ください。
- ④コネクタへの**ファイバ挿入はゆっくり**と行ってください。乱雑に挿入した場合、ファイバが破損して工事不良につながる可能性があります。折れたファイバが飛散する恐れもあります。
- ⑤異物の混入による光損失増を防ぐため、ダストキャップはコネクタを**接続するまで外さない**でください。
- ⑥コネクタ内部には適量の屈折率整合剤を充填しております。コネクタへの**ファイバ挿入を2回以上行わない**でください。

構成品

- コネクタ (クサビ付き) : 本体
- ブーツ : 本体構成部品
- 保護チューブ : 本体構成部品
- ファイバホルダ : 添付治具(コネクタ10個に1個添付)
- 組立補助治具ベース : 添付治具(コネクタ10個に1個添付)



本コネクタの組立には、上記構成品の他に工具が必要となります。予めご準備ください。

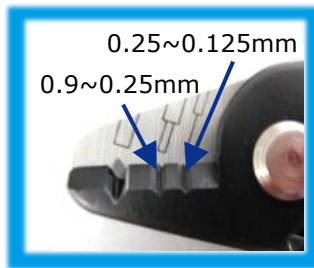
おすすめ組立工具

1. ハンディ光ファイバカッタ



FC-8R-MC

2. ジャケットリムーバ
(φ0.25/0.9mm心線の被覆が除去できるもの)



JR-M03



JR-25

3. 可視光漏れ確認キット



(住友推奨可視光源使用)

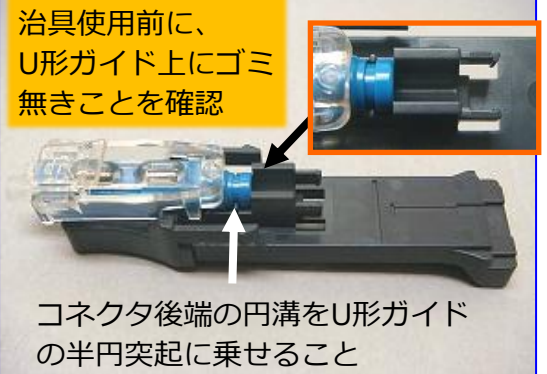
【お問い合わせ先】 住友電気工業株式会社 光機器事業部

TEL (045) 853-7225 FAX (045) 851-1286

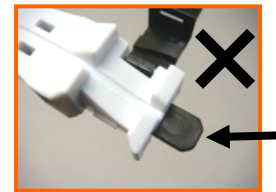
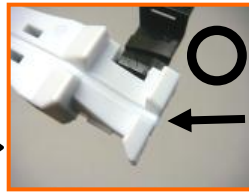
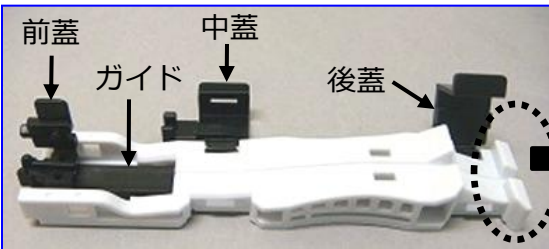
【1】コネクタ準備



【2】コネクタを治具にセット

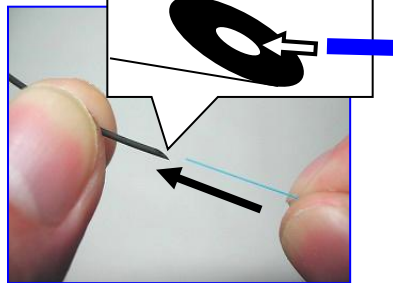
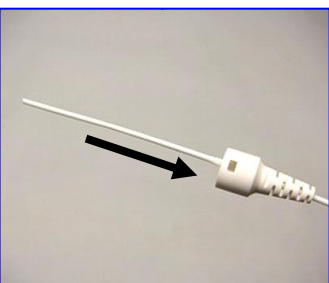


【3】ホルダの準備



ホルダ使用前に、前、中、後蓋を開けて、ガイド後端が出てないことを確認する
出ている場合は後端を押す

【4】保護チューブを通す



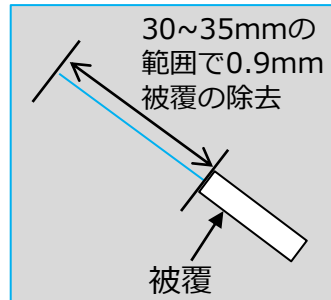
外径0.9mm心線の場合

外径0.25mm心線の場合(※)

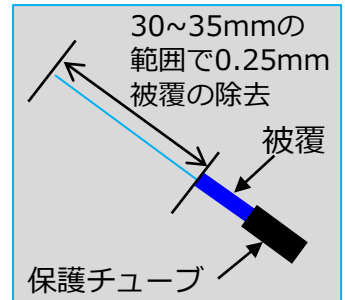
(※) 外径0.25mm心線の場合は
ブーツと保護チューブを通す

【5】被覆を剥く

(当社製ファイバカッター“FC-8R-MC”
ご使用時の被覆除去長)

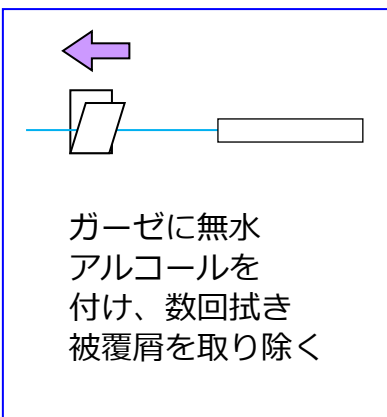


外径0.9mm心線の場合

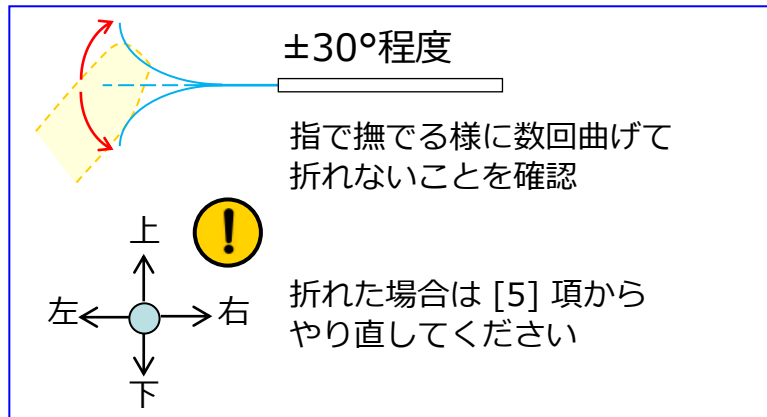


外径0.25mm心線の場合

【6】ファイバの清掃

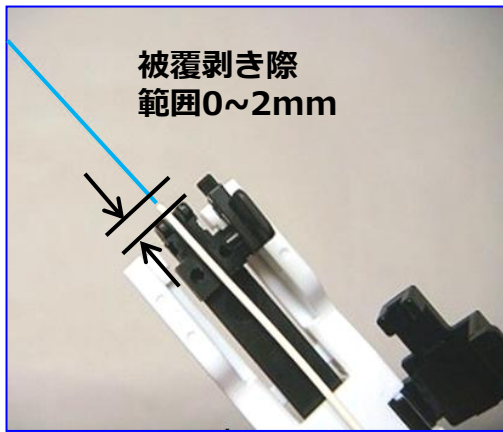


【7】スクリーニング

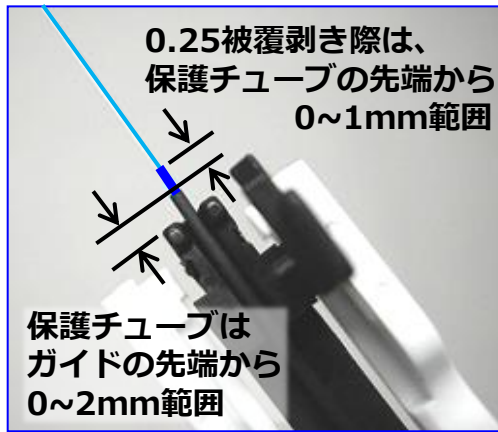


【8】ホルダに心線セット

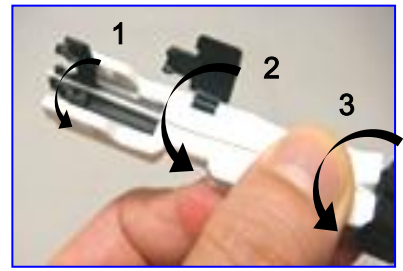
ファイバをホルダの溝に入れ、セットする



外径0.9mm心線の場合



外径0.25mm心線の場合



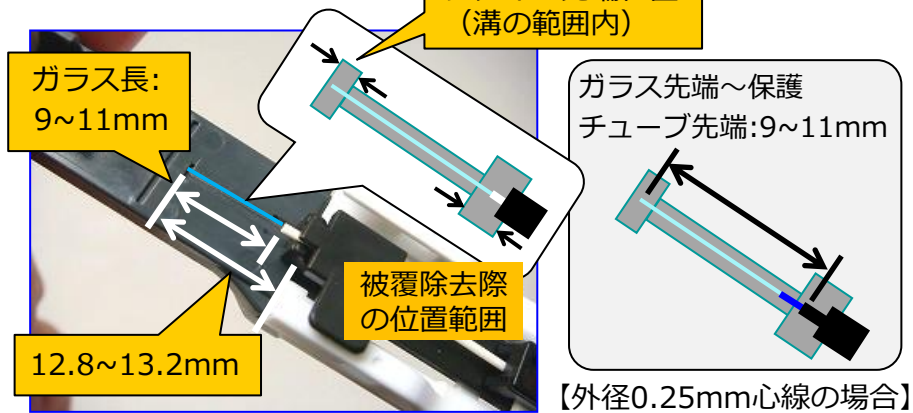
ファイバが動かないように
指で押さえて、前蓋・中蓋・
後蓋の順に閉じる

【9】ファイバカット



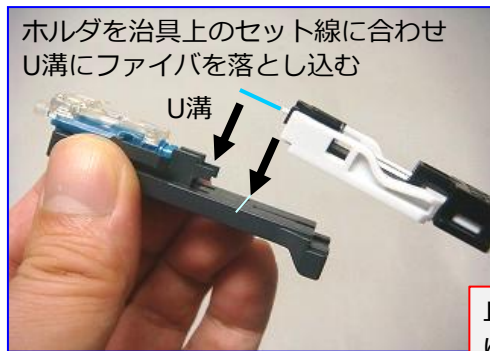
※当社製FC-8R-MC使用の場合

【10】カット長の確認



※寸法が合っていない場合は [5] 項からやり直す

【11】ファイバ挿入①



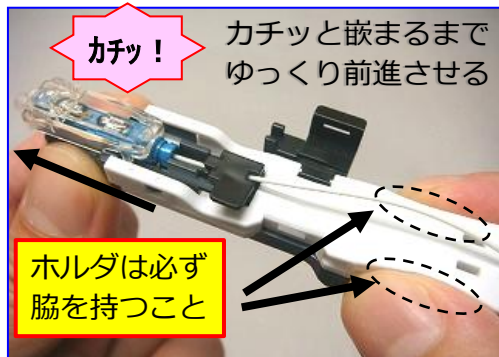
ファイバ挿入②



ファイバ挿入③

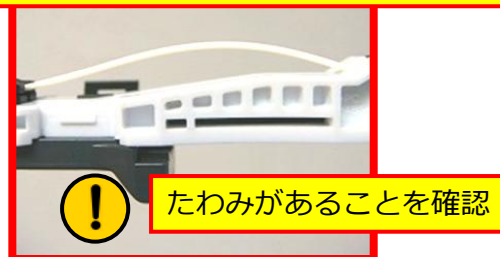


ファイバ挿入④



【12】ファイバのたわみを確認

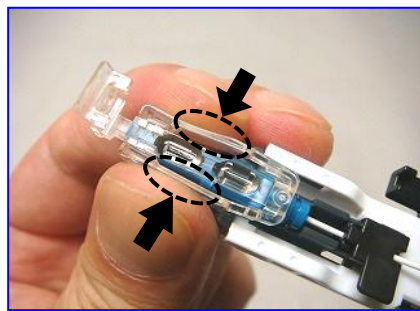
ファイバを押さえて持つと、たわまず強く押し
込まれ過ぎ、内部で損傷する可能性がある



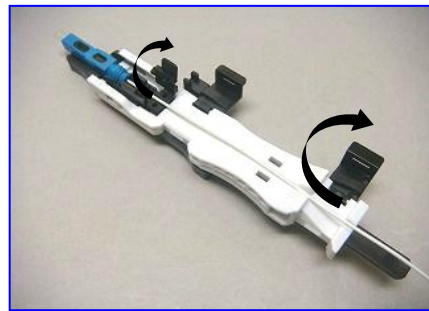
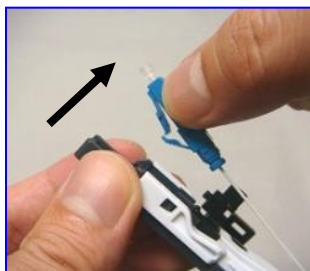
【13】クサビを取り外す



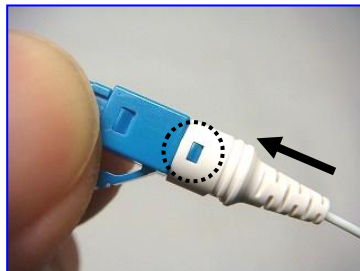
①ロックレバーを解除

②解除アームの中央部
(矢印で示す部分) を押し
クサビを外す

【14】前蓋・後蓋を開ける

前蓋・後蓋を開けて
ファイバをフリーにする【15】コネクタを
取り出す

【16】ブーツを装着



ブーツ穴を突起に嵌め込む

完成

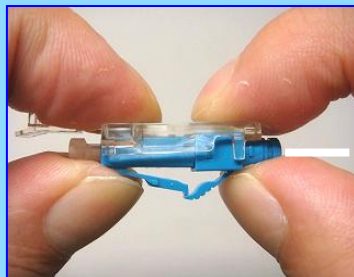
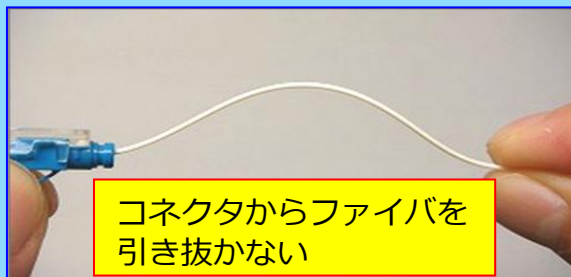
挿入ファイバの突き当て状態を
可視光で確認できます

正常状態

※住友推奨以外の可視光源を
使用した場合、接続が良好
でも光強度が強すぎて露光
する場合があります

透光不具合の可能性あり

接続不良の場合

下記の方法でファイバを再押し込みすることにより
接続面が適切に接触し改善する場合があります【1】再度コネクタに
クサビを取り付けるクサビとコネクタ間
に隙間がなきこと【2】挿入されたファイバを押し込み
再度たわみを作るコネクタ先端から80 +/-10 mm
の位置でファイバを保持【3】たわみを保持した
ままクサビを外す